

〔赤嶺雅和議員 登壇〕

○9番 赤嶺雅和君 おはようございます。一般質問をする前に、正之町長、就任おめでとうございます。では、早速始めさせていただきます。

質問1. 待機児童はどのように推移しているか。（1）南風原町は認可保育園を増園したが、待機児童はどのように減ったか。（2）今後の待機児童対策はどのようになっているか。

2. 介護を受ける世帯の割合について伺います。（1）要介護、要支援、独居高齢者の割合を教えてください。

3. 役場職員の町民対応は。町民からお昼時間を利用して窓口申請に来たが、非常にまずい対応をされたということで相談を受けました。そういうことで、（1）お昼時間の職員の対応についてはどうかということで質問します。以上3点、お願いします。

○議長 宮城清政君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目の待機児童はどのように推移しているかの（1）についてお答えします。平成27年度の子ども・子育て新制度が始まってから本年度までに認可保育園を3園新設、そして小規模保育園等を4園新設、分園や増改築等で4園の定員増として、さらに既存保育園でも定員増に協力いただき、403名の定員をふやしてまいりましたが、ことしの4月1日現在で194名の待機児童となっております。（2）についてお答えします。ことしの3月に見直した町子供・子育て支援事業計画に沿った認可保育園の整備と既存保育園の弾力化で対応している部分の定員化に取り組んでまいります。

質問事項2点目の介護を受ける世帯の割合についてお答えします。ことしの3月末時点の要介護高齢者は872人で13.1%、要支援高齢者は224人で3.4%、平成29年10月時点の独居高齢者は1,128人で7.8%となっております。

3点目の役場職員の町民対応についてであります。本町の業務時間は午前8時30分から午後5時15分までとなっております。業務期間中は迅速丁寧な窓口を心がけており、町民サービスの向上を図っているところであります。以上です。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 再質問します。待機児童はどのように減ったかということで、認可保育園を3園新設、小規模保育園等を4園新設、分園や増改築等で4園の定員増、さらには既存保育園でも定員増に協力していただき、403名の定員をふやしてまいりました。そういうことで平成30年4月1日現在で194名の待機児童となっておりますとの報告を受けましたが、それでも南風原町は待機児童が毎年ふえています。保育園を増園してもなお、待機児童が毎年ふえてくる要因として、行政はどのように考えていますか。お答えください。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 403名の定員を増やしてもなお、193名の待機児童が生じているわけですが、本町の特徴としては人口増、特に就学前人口の増、それから出生数も含めてその人口増が大きい理由と。もう一点は、平成27年度の制度改正によって、保育を必要とする入所申込のできる要件が緩和され、申込者数がふえたという状況でございます。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 ありがとうございます。出生数がふえたのと、町外からの転入者がふえた。申し込みの条件が緩和されたということで待機児童がふえている状況だという話でした。それ以外にはほかに何か考えられませんか。それ以外、何か要因はないですか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 それ以外の要因としては、保育士の確保ができないということで保育士不足による定員割れというような状況がございます。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 それ以外の要因として保育士の確保が難しいということでしたが、昨年でしたか、一昨年でしたか、県は保育士の研修をやりました。これを利用して南風原町の保育士の状況は変わっているかどうか教えてください。

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩（午前11時27分）

再開（午前11時28分）

○議長 宮城清政君 再開します。民生部長。

○民生部長 知念 功君 沖縄県は待機児童が多い地域ということで特区の申請を認められて、沖縄県ではこれまで年1回だった保育士の試験が年2回行われております。ただ、

6月20日（第4号）一般質問

その2回によって1回のとときと比べてどれだけふえたかというのは、今資料は持ち合わせておりません。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 保育士の試験でしたね。ごめんなさい、間違えました。

それから、本町の認可保育園と無認可保育園の割合がわかりましたらお願いします。

○議長 宮城清政君 休憩します。

休憩（午前11時29分）

再開（午前11時29分）

○議長 宮城清政君 再開します。民生部長。

○民生部長 知念 功君 認可保育園が14施設、それから地域型保育事業としての認可を受けている保育園が4カ所、認可外保育施設については今資料を確認しておりますので。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 認可外保育施設についてははっきりした資料がないということですね。認可外から認可保育園に移行するような希望者はないですか。認可外から認可園に希望する保育園はないですか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 お答えします。認可外施設は6施設でございます。認可外施設から認可園への希望ということでは、小規模保育事業を始めるに当たっては、町内全ての認可外保育園に希望をとりまして、平成28年度はその中から2カ所が応募しまして、認可化した経緯もあります。それからよなは保育園は認可保育園ですが、よなは保育園も認可外から認可保育園と。そういう形で今回は90名定員の認可保育園を今公募中でございますが、そういう認可の要件を満たせば応募もできますので、希望があればそういう形で我々も応募を受け付けるというふうになります。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 ありがとうございます。よなは保育園が認可外から保育園に移行したということですが、よなは保育園みたいな大規模な、今無認可でやっているところは、将来的に認可保育園に希望するような施設はほかにはないですか。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 認可園の希望ということでは、町内では今のところはございません。ただ、開邦幼稚園が認定こども園へ向けて準備中でございます。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 ありがとうございます。きのうの勇議員からの質問で開邦幼稚園が認定こども園に移行するような話を聞きました。南風原町はほかには、今のところは希望者は出ていないんですね。ありがとうございます。

それでは、(2)の今後の待機児童対策はどのようになっているかということに対して、既存保育園に協力していただき、定員増に取り組んでいるということでした。定員増、弾力化だと思うのですが、弾力化は何パーセントぐらいまでは可能ですか。

○議長 宮城清政君 こども課長。

○こども課長 前城 充君 今、各園の定員増に関しましては、137名を認可園のほうで協力を願う計算で出しております。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 ありがとうございます。137名増までは可能だということですね。ありがとうございます。

待機児童の件はこれで終わりました。2番の介護を受ける世帯の割合について伺います。先ほど答弁をもらいましたが、要介護高齢者は872人、13.1%、要支援高齢者は224人、3.4%ということです。平成29年10月1日時点の独居高齢者は1,128人、7.8%になっているという回答をもらいましたが、施設に通所しているとか施設に居宅している人はいいとして、今問題になっているのは独居高齢者ですね。中には社会とのかかわりをあまりしない人たちもいます。それでいろいろと社会問題が起きています。特に、80歳以上の高齢者の運転免許。事故が最近多くなりつつありますね。私も区民に対して、80歳以上の免許を持っている人に「できるだけ免許は返納できないか」と相談しましたが、どうしても車がないと不便だということで、返納は難しいような返事をもらいました。そういう意味では、南風原町の独居高齢者に対しての対策はどのようになっているのかお伺いいたします。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 支援が必要な一人暮らしの高齢者の方、そこは社協のコミュニ
ページ(2)

6月20日（第4号）一般質問

ティソーシャルワーカー、あるいは地域とか、また社協の在宅介護支援センター、そういう形で地域に出向いてアウトリーチをかけて、支援が必要な方々という形で把握はしております。そういう中で町は支援が必要な高齢者の方、あるいは今は支援がなくても元気で高齢期を過ごしていただけるような取り組みとしては、社協と連携して支え合うまちづくり事業とか、社会的孤立対策の事業、あるいは声かけ等、安否の確認等も含めた友愛訪問事業、あるいは一人とか高齢者世帯のみで食事がつくれないとか、難しいという方への弁当の配達ですね。そういう形で支援が必要な方々をしっかりと安否とかそういうのも確認しながら取り組んでいる状況です。そういう中で、これまで赤嶺奈津江議員からも質問がありました買い物弱者の対策ですね。この部分では、高齢者の外出支援サービスがありますが、買い物についての部分ではまだできていない部分があります。今後はそういう免許返納者が出てくることによって、さらにニーズは高まっていくというふうに我々も認識しています。ここはまた新たな施策の導入とか、その辺を検討していきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 ありがとうございます。特に心配しているのは、高齢者の免許返納者ですね。外出する機会が失われ、親族が本人を乗せて活動してるような状況がよく見受けられますが、特に南風原町は地域でミニデイサービスがありますね。このミニデイサービスにも公民館が遠いということで出向かない高齢者もいます。そういう人は民生委員やボランティアの皆さんが協力し合って、車で迎えに行っているような状況です。そういうのを考えますと、やはり日常の足がわりになるような車がないと活動が難しいのかなと思います。そういう面では、南風原町はコミュニティバスはないのですが、コミュニティバスにかわるような、例えば地域に軽自動車を1台ずつ配置するとか、そういうことは可能でしょうか、伺います。

○議長 宮城清政君 民生部長。

○民生部長 知念 功君 まず、地域でのミニデイサービスにおいて、公民館まで移動手段がなくに行けない方については、先ほどの高齢者外出支援サービスで対応できていますが、それを使わずとも、おっしゃってましたように民生委員とか、地域のボランティアの方々がお家へ出向いて車に乗せてもらって公民館で連れて行っていただく。この地域のボランティアの方々の協力というのは大変重要だと思います。協働のまちづくり、まさに地域づくりですので、逆にそういう地域がどんどんふえていくような、そういう地域のつながり、人と人とのつながりを築き上げていけるようなまちづくりを進めていくべきだと考えます。ただ日常、毎日生活する上でスーパーに行ったりというふうな買い物、そういう部分ではボランティアの方々だけの対応では難しくなりますので、そういう部分を補う、何か新しい施策については、今後しっかりと検討してまいります。ご質問の各字への配置とか、そういう部分では財政的な部分もございまして、それは厳しいものだと考えます。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 ありがとうございます。行政としては地域に車を配置するのは厳しいと。財政が厳しいという回答でした。私の出身地の神里では、軽自動車を買って地域に利用してもらっている状況です。そういう意味では、コミュニティバスを利用するというのは非常に厳しいですけれども、地域で軽自動車をうまく利用してもらうという方法は、財政的に成り立つ地域はいいんですが、難しいところは非常に厳しい状況ですね。そういう状況で、行政側としても厳しいという回答でした。ありがとうございます。介護の件もこれで終わります。

次に、3番目の役場職員の町民対応ということですが、正之町長の町長就任のあいさつの中で、「役場は最大のサービス産業である。町民のサービスの向上に努める」とあります。町長は、役場は最大のサービス産業だとおっしゃっています。役場職員もこの辺を肝に銘じて、日ごろ頑張っているとは思いますが、特に町民を代表する窓口業務の皆さんは、特にこの辺は気を使っていたら、頑張りたいと思います。といいますのは、町民から私が相談を受けたのは、お昼時間に仕事を休んで窓口に来たら、腰かけが一つも空いてなくて、ずっと終わるまで立っていたということです。本人は腰痛持ちで病院に通っているんですね。非常に苦しかったという話をしていました。そういうことでは、職員が折り畳み椅子を持ってきて「どうぞ」というぐらいの気遣いはあってもいいなと追いました。たまたまその日は窓口業務が多くて、町民も10名以上いて、立っている人も何名かいたそうです。特に腰の痛い人は厳しかったようです。そういうことでどうにかできないかということで相談がありました。そういうことで一般質問に取り上げ

6月20日（第4号）一般質問

てみました。日ごろ窓口で町民の対応をしている職員の皆さんはご苦労さまですが、それ以外の職員の町民への対応も、役場は最大のサービス作業であることを肝に銘じて、日常頑張っていたきたいと思います。これで私の質問を終わります。ありがとうございます。

○議長 宮城清政君 総務部長。

○総務部長 宮平 暢君 本町では、先ほど答弁があったように、窓口対応については迅速丁寧な対応を心がけており、住民に満足頂くサービスを提供してきております。しかし、これからもさらに職員一丸となって住民サービスの向上に努めていきたいと考えております。

○議長 宮城清政君 9番 赤嶺雅和議員。

○9番 赤嶺雅和君 ありがとうございます。頑張ってください。以上であります。